

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市亀田清掃センター附属休憩所及び運動公園		
管理者名	きらめき・日建緑地共同企業体	令和3年4月1日	～ 令和8年3月31日
担当課	循環社会推進課		
所在地	新潟市江南区亀田1835番地1		
根拠法令	地方自治法第244条の2第3項		
設置条例	新潟市廃棄物処理施設附属施設条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ●休憩所(敷地面積 2,200㎡) 施設規模 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 808㎡ 建築面積 868㎡ 施設内容 <ul style="list-style-type: none"> ・休憩所(85畳) ・多目的ホール(85㎡) ・浴場(シャワー機能)×2 ・更衣室×2 ・ドリンクコーナー ・駐車場60台 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動広場(敷地面積 27,100㎡) 施設規模 (一面)11,403㎡ 施設内容 <ul style="list-style-type: none"> ・運動広場(軟式野球場とサッカー場兼用) ・芝生広場 ・ランニングコース(1周約450m) ・トイレ ・駐車場20台(一般廃棄物処理場用地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具室 ・遊具

施設設置目的
ごみ焼却場の余熱を利用した入浴設備を備えた休憩所(田舟の里)と遊具や野球場とサッカー場を兼用できる運動広場を備えた運動公園で地域住民のレクリエーション施設として健康増進と憩いの場を提供することを目的として設置
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> ① 施設の設置目的を理解し、魅力ある施設運営を目指すための運営方針及びサービス提供、地域経済への貢献、効率的な考え方、そのほかこの業務に関わる独自のアイデアを有すること。 ② 公の施設の管理運営を安全かつ継続して行える能力及び財務体質を有すること。 ③ 個人情報保護のための管理体制を整えること。 ④ 業務に見合った管理体制で職員の資質向上のための定期的な研修等ができる体制を整えること。 ⑤ 施設の現状を踏まえ、継続的な維持管理を行い施設内の衛生管理及び浴室等のレジオネラ属菌対策等を適切に行うこと。 ⑥ 施設の設置目的を踏まえ、施設全体の利用促進とサービス向上の工夫、特に多目的ホール等の利用率増加に向けた取り組みをすること。 ⑦ 遊具等付帯設備・備品類の安全点検及び緊急時に備えた各種訓練を定期的に行い、そのほか災害・事故等の予防策を考え、緊急時に対応する体制を整えること。 ⑧ 利用者の声に的確に応えるなど施設の信用性向上に取り組むこと。 ⑨ 事業計画に沿った内容で経費を算定すること。 ⑩ 経費の削減に取り組む、市が支払う管理費用を抑える事業計画となっていること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページの充実と広報誌(市報等官報)・HP掲載を月1回以上	月1回以上の更新を行い、イベント情報等を市報等で周知した。例：パパママ銭湯など。	B	
	目標利用者数の達成	附属休憩所の年間利用者数44,452人以上	47,314人	A	前年度実績を上回り、目標利用者数を達成したことを評価する。引き続き利用者の増加に繋がる取り組みを行ってほしい。
	多目的ホール稼働達成	年間利用時間数が354時間以上	235時間	C	目標達成はできなかったものの、前年度実績と比較し利用時間は増加している。引き続き稼働時間増加に向けた取り組みを行ってほしい。
	個人情報の保護	管理体制が整っているか。	エリアマネージャー、館長を中心として管理体制を整えている。	B	
	利用者からの要望や苦情に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答 アンケート回収を実施 年間250枚以上	苦情、要望に適切に対応。結果を館内に掲示した。アンケートは149人からの回答。満足度が93.2と高評価。	C	アンケート回収目標の達成はできなかったが、今後も新たなイベント開催の際にアンケートをお願いするなど、目標達成に向け努力を継続してもらいたい。また、利用者からの苦情、要望には真摯に対応し、反映できる意見は形にするようお願いしたい。
利用促進とサービス向上	自主事業100回以上	イベントを109回実施。パパママ銭湯や骨密度測定やミニ演奏会など新規イベントを導入した。	A	新たなイベントを企画・導入し目標を達成したことを評価する。引き続き、新規利用者の増加に繋がる取り組みを行ってほしい。	
財 務	市の歳入の増加	使用料収入が9,067千円以上	使用料収入が7,899,500円。	C	目標達成はできなかったものの、前年度実績と比較し利用者数増加に伴い使用料収入も増加している。今後も新たなイベント導入など、利用者数の増加に向けた取り組みを行ってほしい。
業 務	施設の維持管理及び衛生管理	レジオネラ属菌対策対応を月1回 グラウンドは、常に使用可能な状態を維持する。	配管洗浄作業を適切に行った。毎月、屋外点検時にグラウンド状況を確認した。	B	
	災害・事故等の予防及び緊急時対応	遊具等付帯設備の点検を月1回以上、及び各種訓練年1回以上を行う。	毎月1回以上の点検を実施。避難訓練2回、AED研修2回実施した。	B	
	事件・事故発生時の対応の適切	事故が生じた場合速やかに対応する。	救急搬送の必要な案件において、迅速な対応を行った。その後市への報告も速やかに行った。	B	
人 材	配置人員のスキル習熟	定期的な研修等を行う。	マナー研修、災害時対応についての研修を実施した。	B	
	配置人員の労働条件	労働関係法を遵守する。	遵守している。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄 (アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

利用人数と使用料収入は前年に比べ回復傾向にある。今後も利用者ニーズを汲み取り、運営業務へ反映させて利用者増加を図りたい。新しい試みとして、パパママ銭湯なども実施しており、次年度も継続して行いたい。

所管課による総合評価(所見)

コロナ禍で落ち込んだ利用者数も、新たなイベント開催の成果により、目標を上回る年間利用者数となった点は評価する。今後も継続しイベントの企画や利用者ニーズを満たすことで、新たな利用者獲得に繋げてほしい。

また、利用者アンケートの結果からも、スタッフの接遇面や施設衛生面において高評価を得ており、引き続き、研修等を通じスタッフのスキルアップに努めてもらいたい。

運動公園やグラウンドについては、日々の状況確認や遊具等付帯設備の点検や管理が適切に実施されており、良好な状態が図られていたことを評価する。